

所得税の申告

問い合わせ 枚方税務署 (TEL 844・9521)

■枚方税務署での申告

平成28年分の所得税の確定申告に係る申告・相談を次のとおり行います。
とき 2月16日(木)～3月15日(水) (土・日曜日を除く)
※2月19日(日)・26日(日)は開庁します。
ところ 枚方税務署(枚方市大垣内町2-9-9)

※申告相談の受付時間は午後4時までです。混雑状況により、早めに受け付けを終了する場合があります。
※期限が近づくと混雑が予想されますので、早めの申告をお願いします。
※申告書は、郵便や信書便による送付、税務署の時間外

■収受箱への投函でも提出可 ■交野市での申告会場(2月8日までです)

交野市での申告会場は、いったん廃止する方向でしたが、税理士が中心となって指導する会場として、引き続き開設します。
とき 2月2日(木)～8日(水) (土・日曜日を除く)
時間 午前9時30分～正午、午後1時～4時(受付終了時間は、3時30分)

※会場の混雑状況により、早めにお申し込みください。
ところ 市役所別館3階 会議室
お願い
▽不動産や株式などの譲渡所得・贈与税の申告相談は行っていません。税務署をご利用ください。
▽昨年、パソコンで電子申告をした人には、利用者識別番号が付与されていますので、ご来場の際は、識別番号が記載されたものをお持ちください。

「確定申告書等作成コーナー」(国税庁ホームページ) 国税庁ホームページを利用

した申告にご協力をお願いします。確定申告書等作成コーナーでは、次の申告書などの作成ができます。
▽所得税・消費税の確定申告書
▽青色申告決算書
▽収支内訳書
▽贈与税申告書

※その他、株式などや不動産を売却した場合の所得の計算にも対応していますので、株式などに係る譲渡所得などの金額の計算明細書や譲渡所得の内訳書(確定申告書付表兼計算明細書)も作成できます。
※このコーナーで作成した申告書などは、プリンターで印刷して添付資料とともに郵送などで提出できます。
※国税庁ホームページ (http://www.nta.go.jp)

「マイナンバー」の記載について
平成28年分以降の所得税の確定申告には、マイナンバーカードか、マイナンバー通知カードおよび本人確認書類(運転免許証など)の写しの添付または提示が必要となります。
■「税務署員を装った不審な電話」にご注意ください
国税局や税務署の職員を名

乗る人が、個人情報を読み出すこととする事例が発生しています。不審な電話があったときは、枚方税務署にお問い合わせください。

市・府民税の申告

29年度市・府民税申告の受け付け(28年中の所得に基づく申告)を、次のとおり行います。
とき 2月9日(木)～3月8日(水) (土・日曜日を除く)
時間 午前9時30分～正午、午後1時～4時
※交野市の所得税申告会場と開設期間が異なりますので、ご注意ください。

ところ 市役所別館3階 小会議室
※郵送での申告も受け付けます。(郵送先：〒576-18501(住所記入不要) 税務室市民税係)
申告に必要なもの ①市・府民税申告書(申告会場でも配布) ②印鑑 ③給与や公的年金の源泉徴収票(原本を提出) ④収入金額や必要経費が分かる明細書など ⑤生命保険料

確定申告は徒歩・自転車で お越しく下さい

確定申告の時期は、市役所駐車場や周辺道路が大変混雑し、渋滞なども予想されます。また、今年は申告会場の開設期間が短くなっていますので、徒歩や自転車・公共交通機関をご利用の上、お越しく下さい。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

中学生の「税についての作文」優秀作品が決定!

税務署と納税貯蓄組合との共催で募集した、中学生の「税についての作文」は、枚方・寝屋川・交野の3市で多数の作文が寄せられ、各優秀作品が決まりました。

表彰式は、12月9日(金)に枚方税務署で行われました。受賞した生徒のみなさんは、次のとおりです。

問い合わせ 枚方税務署 (TEL 844・9521)

交野市の優秀作品受賞者 (敬称略)

- ▷ 枚方税務署管内租税教育推進協議会会長賞 = 名取亮輔 (一中3年)
- ▷ 納税貯蓄組合大阪府総連合会優秀賞 = 山野絢雅 (四中3年)
- ▷ 近畿納税貯蓄組合総連合会会長賞 = 松名裕一 (創価中3年)・浅野正義 (創価中1年)
- ▷ 交野市長賞 = 丹羽沙奈恵 (四中3年)
- ▷ 枚方税務署長賞 = 岸良心乃香 (創価中1年)
- ▷ 公益社団法人枚方納税協会会長賞 = 樋口雄 (創価中1年)

交野市長賞

『これからのために』

交野市立第四中学校 3年生 丹羽沙奈恵

「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。誰もが一度は目にしたことがあるでしょう。これは小学校一年生から中学校三年生まで、義務教育で教育を受ける私たちの教科書の裏に、必ず書いています。教科書をはじめ、授業などが無償で受けられているのは、日本の国民が納める税金のおかげなのです。では、税はどのようなものなのでしょうか。また、どんな

なことに使われるのでしょうか。

税は国民が国へ納めるお金です。身近な消費税をはじめ、三十七もの種類があります。また税は、例えば信号を動かしたり、ごみを処理したりなど様々な公共事業に使われています。

すなわち、私たちが生活するために当たり前に活動している「もの」や「施設」を動かすためのお金です。一九番に電話をかければ消防車や救急車が駆けつけてくれたり、一〇番ではパトカーが動いてくれるのも、この税金があるからなのです。

では、もし仮に税金がなくなってしまうら、どうなるのでしょうか。街へ出て道路を

歩くごとに、誰かにお金を払わなければいけません。信号が動かなければ、信号により守られていた秩序が壊れ、事故が多発するかも知れません。誰かが私有物に使用料をとられるか。他にも挙げだしたらきりがありませんが、とにかく不便になることは間違いありません。

一九番や一〇番に電話をしても、莫大なお金を払わなければいけなくなり、今のようにな仕組みはなくなるでしょう。

これからの日本を見据えたとき、最も大切なことは社会保障制度についてです。少子高齢化が進む今、多くの高齢者が少ない若者で支えていかなければいけません。ということ、少ない人数で多く

のお金を負担しなければいけない、ということとです。

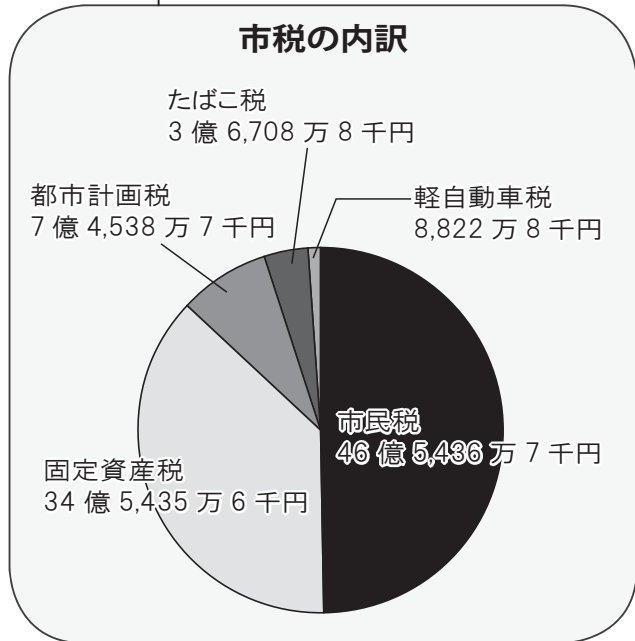
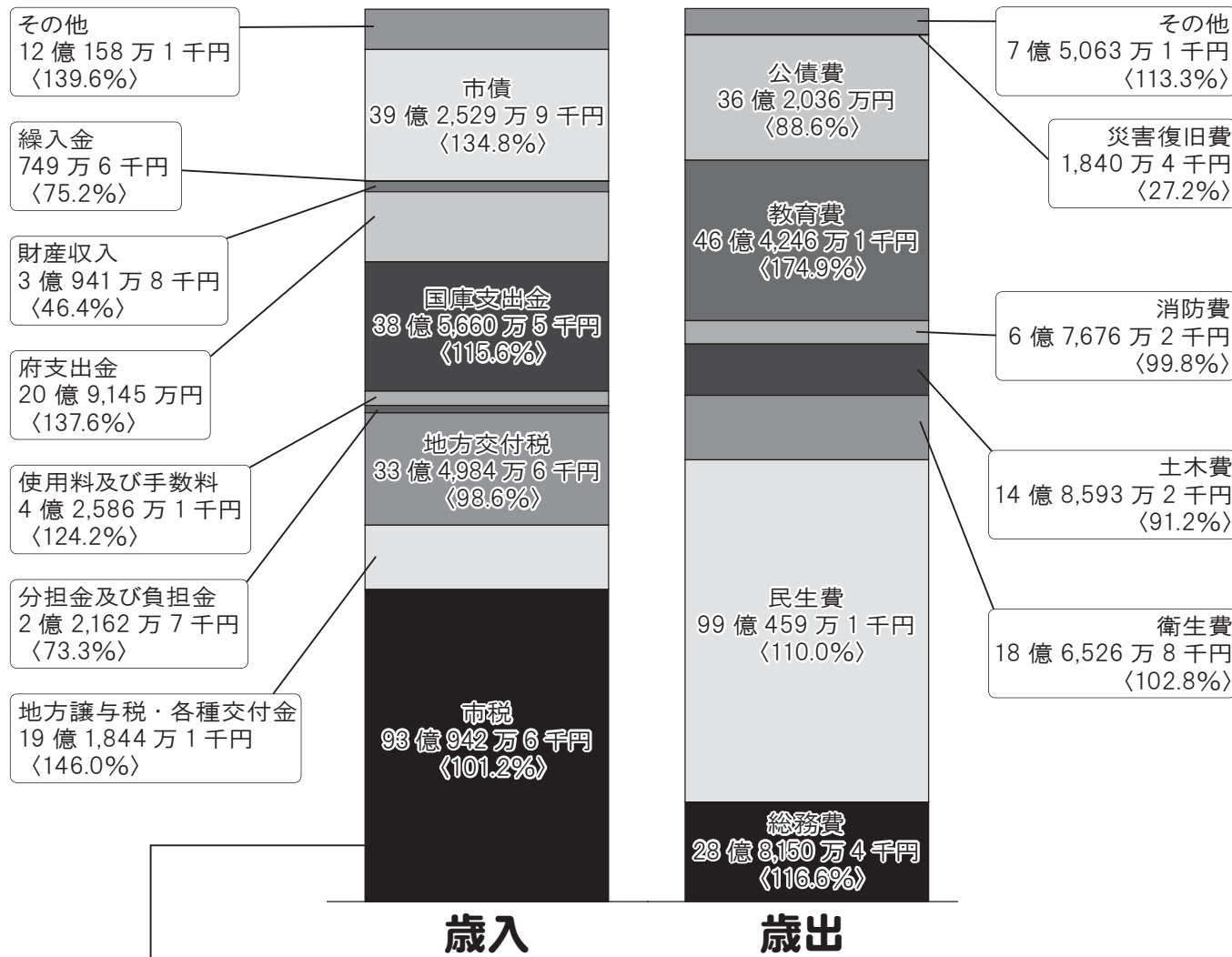
年金や医療で国が出せるお金が減れば、老後の生活は苦しくなってしまう。そういう未来を少しでも良いものにするために、私たちは税金を納めるのです。一人一人の人生をより良くするための手助けをするのが税だと私は思います。

今も未来も過ごしやすい世の中であるために税を知り、納めることが、私たちが社会に貢献する第一歩ではないでしょうか。



一般会計内訳

※グラフ中〈 〉内は前年度比



- 歳入**
266億 1,705万円<前年度比 111.6%>
 ▷地方譲与税・各種交付金は、地方消費税交付金が6億20万2千円増加したことなどにより増額となっています。
 ▷府支出金は、民間保育所の施設整備のための安心こども基金特別対策事業補助金や、新学校給食センター整備のための中学校給食促進事業補助金の増加などで、5億7,099万4千円の増額となっています。
- 歳出**
258億 4,591万 3千円<前年度比 112.0%>
 ▷公債費のうち4億7,055万円が借換債となっており、歳入に同額が計上されています。
 ▷主な事業
 新学校給食センター整備＝24億7,208万3千円
 土地開発公社経営健全化＝6億4,358万1千円
 こども医療費助成＝2億965万2千円
 国勢調査等基幹統計＝3,072万4千円
 証明等コンビニ交付＝2,365万2千円

27年度 決算の報告

問い合わせ 財務課 (TEL 892・0121)

27年度の一般会計決算は、歳入総額が266億1705万円、歳出総額が258億4591万3千円となり、差し引き7億7113万7千円のプラス収支となりました。ことから、翌年度に繰り越す財源4億1349万1千円を引いた実質収支額は3億5764万6千円となり、27年度も26年度に引き続き、収支が黒字になりました。

歳入
市債のうち4億7055万円が借換債となっており、歳出に同額が計上されています。借換債の影響を除くと12億5485万2千円の増額となっています。

増額の主な要因は、新学校給食センター整備のために、17億7220万円の市債を発行したことなどが挙げられます。

歳出
27年度は、歳出で扶助費や特別会計への繰出が増加したものの、市税収入の伸びや、消費税増税の影響が通年化したことによる地方消費税交付金の増額など歳入の伸びがあったため、黒字会計となりました。しかし、地方交付税をはじめとした国・府からの交付金などや、財産の売り払いなどによる一時的な収入に頼らざるを得ない状況は変わりません。そのような中で、今後も社会保障経費の増加が予想されています。

また、依然として土地開発公社が多くの負債を抱えている他、インフラや各公共施設などの老朽化対策を進めなければなりません。併せて、新学校給食センターや新ごみ処理施設建設に係る費用の償還が始まるなど、非常に多くの問題が山積しており、厳しい状況が続くことが予測されます。

今後も健全な財政運営を継続するために、さらなる歳入の確保に努めるとともに、その財源を最大限に生かした施策を進めていきます。

ことなどにより、4億1043万3千円、16.6%の増となっています。

また、民生費では障がい者支援の扶助費や国民健康保険会計への繰出金の増加により、8億9640万円、10.0%の増、教育費では新学校給食センターの整備により、19億8809万4千円、74.9%の増となっています。

一方、土木費では土地開発公社からの用地買い戻しが26年度より少なかったこと、災害復旧費については27年度中に大規模な災害が発生しなかったことなどにより減額となっています。

27年度健全化判断比率

用語説明	交野市		国の基準	
	27年度	26年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	12.84%	20.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	17.84%	30.0%
実質公債費比率	13.0%	12.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	169.9%	183.1%	350.0%	基準なし
資金不足比率	水道事業 不足なし	水道事業 不足なし	20.0%	基準なし
	下水道事業 不足なし	下水道事業 不足なし	20.0%	

上表の比率は、地方公共団体の健全性を示すもので、これらの比率が基準を超えると財政健全化計画または財政再生計画を策定し、改善に向けて早急に取り組む必要があります。

市ではすべての比率が早期健全化基準を下回っていますが、将来負担比率は全国的に見ても非常に高い数値であり、施設の老朽化対策など、比率が増加する要因も控えています。財政状況が厳しいことには変わりありませんが、今後も基準を下回るよう、さらなる健全化に努めます。



27年度 交野市土地開発公社の決算

問い合わせ 土地開発公社 (TEL 892・0121)

27年度の事業としては、新たな公有地の取得はなく、保有している公有地の管理・処分・暫定活用を行いました。

公有地の処分については、第二京阪道路沿道整備区域など4事業用地、面積882.04平方メートルを6億4,358万489円で市に売却しました。

これにより、本年度末の公社保有地の面積は、35,370.92平方メートルとなり、その保有額は120億3,452万734円となりました。

なお、本年度の損益は、市へ時価での売却を行ったため、7,322万2,865円の当期損失となり、前年度の前期繰越準備金8億238万1,181円と合わせて、準備金は7億2,915万8,316円となりました。

その他、公社保有地の暫定活用については、民間などへ20か所を貸し付けています。合計面積は7,607.33平方メートルで、主に駐車場や資材置き場として使用され、880万935円の賃貸収入を得ました。

今後も、保有している公有地の積極的な有効活用に努めるとともに、管理経費の節減、金融機関との低利率交渉による支払利息の節減に努めます。また、市長戦略に基づく計画的な買い戻しを市に要望し、公社の健全化を推進します。

◆借入金の状況

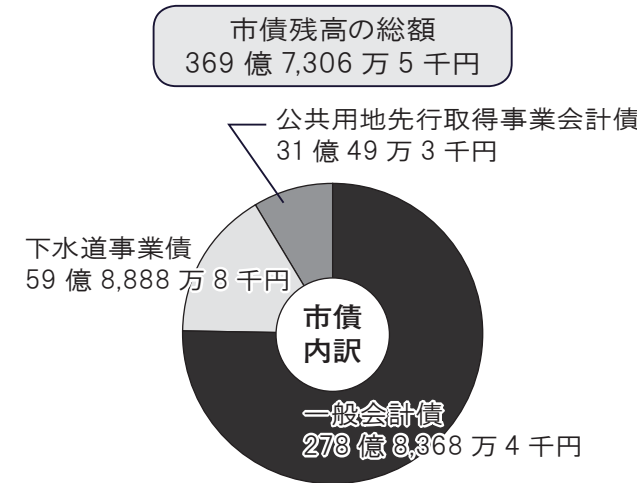
期間	借入額	利率
長期	114億8,700万円	1.15%

資産の部		負債の部	
科目(款・項)	金額	科目(款・項)	金額
流動資産	12,222,757,569	流動負債	1,750,687
現金及び預金	188,236,835	預り金	1,744,375
公有用地	9,227,284,824	前受金	0
代替地	2,807,235,910	未払金	6,312
有形固定資産	151,434	固定負債	11,487,000,000
車両その他運搬具	151,434	長期借入金	11,487,000,000
		負債の部合計	11,488,750,687
		資本の部	
		資本金	5,000,000
		基本財産	5,000,000
		準備金	729,158,316
		前期繰越準備金	802,381,181
		当期損失	73,222,865
		資本の部合計	734,158,316
合計	12,222,909,003	合計	12,222,909,003

費用の部		収益の部	
科目(款・項)	金額	科目(款・項)	金額
事業原価	631,516,306	事業収益	643,580,489
公有地取得事業原価	631,516,306	公有地取得事業収益	643,580,489
販売費及び一般管理費	2,805,800	事業外収益	8,860,798
販売費及び一般管理費	2,805,800	受取利息	59,357
事業外費用	105,238	雑収益	8,801,441
支払利息	105,238		
雑損失	0		
特別損失	91,236,808		
固定資産売却損	91,236,808		
当期損失	73,222,865		
合計	652,441,287	合計	652,441,287

● 市債(借金)

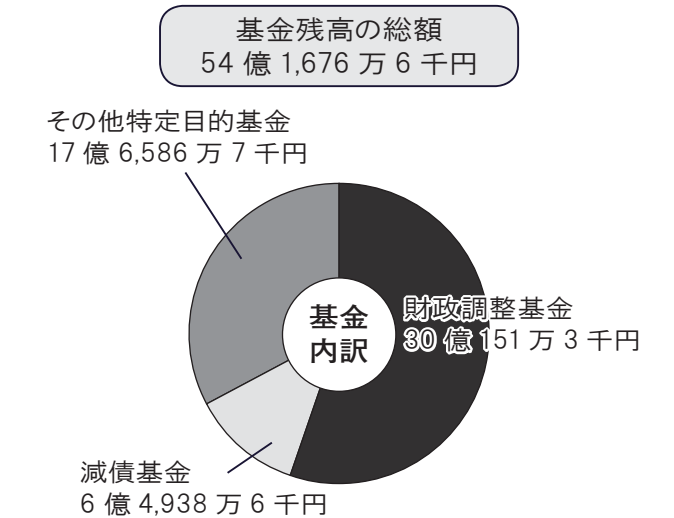
27年度は、新学校給食センターの建設に伴う多額の市債発行で、一般会計債の残高は増加しました。市全体としては、これまでどおり返済額以上の借入を行わないように市債の発行を抑制したため、残高は1,043万6千円減少しました。



※水道、土地開発公社分を除きます。

● 基金(貯金)

ここ数年は市の財政が黒字決算を計上しているため、積極的に基金の積み立てを行うことにより、将来的な財政支出に備えています。27年度末の残高は4億1,592万5千円増加しました。



● 27年度各会計決算額

※下表の単位は千円

会計名	歳入総額	歳出総額	繰越財源	実質収支
一般会計	26,617,050	25,845,913	413,491	357,646
国民健康保険特別会計	9,818,257	9,737,494	—	80,763
下水道事業特別会計	1,482,481	1,407,584	37,300	37,597
介護保険特別会計	4,985,550	4,827,443	—	158,107
公共用地先行取得事業特別会計	307,363	307,363	—	0
後期高齢者医療特別会計	1,097,215	1,059,320	—	37,895
合計	44,307,916	43,185,117	450,791	672,008

▷国民健康保険特別会計=8,076万3千円の黒字決算となりました。27年度末の国民健康保険被保険者数は、1万8,092人(3.3%減)で世帯数は1万749世帯(1.6%減)です。療養諸費の1人あたりの費用額は、一般被保険者で38万3,265円(7.8%増)でした。

▷下水道事業特別会計=3,759万7千円の黒字決算となりました。27年度末の下水道人口普及率は、94.9%(0.2%増)、水洗化率は98.3%(0.2%増)となっています。

▷介護保険特別会計=1億5,810万7千円の黒字決算となりました。27年度末の65歳以上人口は、2万468人で26年度より489人の増加となりました。それに伴い、歳出総額も1億5,371万5千円、3.3%の増加となっています。

▷後期高齢者医療特別会計=3,789万5千円の黒字決算となりました。27年度末の被保険者は8,894人で、26年度より566人、6.8%の増加となっています。保険料の収納率は、99.6%です。





新しいパッカー車を 導入しました

問い合わせ 環境事業課 (TEL 892・2471)

市が新しく購入したパッカー車2台に、デザイン画募集で採用された市内小学校4年生の作品が、ラッピングされました。

このパッカー車は、1月4日から稼働しています。

■採用者・作品テーマ

- ▽森本真菜さん⇨ずっと星のまち交野
- ▽後田尚汰君⇨大好き！星のまち交野
- ▽山口愛さん⇨交野のしぜんをたいせつに
- ▽今門克将君⇨みんなの自然を大切に

〈6号車左側〉



妙見坂小学校・後田尚汰君

〈6号車右側〉



郡津小学校・森本真菜さん

〈12号車左側〉



妙見坂小学校・今門克将君

〈12号車右側〉



交野小学校・山口愛さん

ようこそ! 校区福祉委員会 ～ Vol. 3 ～

問い合わせ 社会福祉協議会
(TEL 895・1185)

交野小学校区福祉委員会 ～「子どもたちと地域がつながる活動」～

交野小学校区福祉委員会は、子どもから高齢者が清掃活動などの協働作業を通して、世代間交流を行い、顔の見える関係づくりを進めています。一緒に、この活動に参加してみませんか。

＝ ＝ ＝ 活動紹介 ＝ ＝ ＝

★**稲作**＝地元農家などの協力を得て、児童が田植えから稲刈りまでを行っています。28年度は、児童の企画・発案で収穫した米を「交野子米」(かたのこまち)として販売し、売り上げを「熊本地震」の義援金に寄附しました。児童はこの活動を通して、食の大切さを知り、福祉の「こころ」を育みました。



5年生の田植えの様子

★**昔遊び・昔の話おはなし会**＝昔の生活文化や知恵を伝えています。また、絵本などの読み聞かせも行っています。

★**地域清掃活動**＝校区福祉委員会の「登校時の子どもの見守り活動」に対し、児童が「感謝の気持ち」を込めて始まった活動です。

★**花いっぱい運動**＝毎年2・3年生の児童と校門付近の花壇に、チューリップの球根を植えて育てています。

